

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科：家庭科 科目：家庭総合 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～E組

教科担当者：

使用教科書：（家庭総合 実教出版）

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。 | ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 | ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|-------------|---|---|---|---|---|----------|---|
| 1 学期 | A 第1章 これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】 自分や、人の一生、ライフステージごとの特徴や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、自分の生活や将来について考えを深め、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 現在の自分や将来の生活設計について、意欲を持って考えようとする態度を養う。 | ・教材（教科書・資料集） ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。 | 【知識・技能】 自分自身や将来について考えるワークシートなどを通して、自分や人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 第2章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 自立や男女の平等と相互の協力、生活時間と労働との関係、結婚、家族・家庭の多様化や役割、家族に関する法律等の知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 家族の変遷や家族に関する意識の変化、現在の家族の抱える問題・課題などについて、自らの考えをまとめる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 男女共同参画社会、労働の意義や役割、労働時間と生活時間とのかわり、家族、家庭生活に関する法律などについて知ろうとする態度を養う。 | ・教材（教科書・資料集） ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。 | 【知識・技能】 自立や男女の平等と相互の協力、生活時間と労働との関係、結婚、家族・家庭の多様化や役割、家族に関する法律についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 家族の変遷や家族に関する意識の変化、現在の家族の抱える問題・課題などについて、自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 男女共同参画社会、労働の意義や役割、労働時間と生活時間とのかわり、家族、家庭生活に関する法律などについて興味を持って知ろうとする態度がある。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 第3章 子どもとかわる 子どもとは 【主体的に学習に取り組む態度】 ・青年期の健康を学ぶことで、次世代を担う子どもを育て、はぐくんでいくことの責任感を養う。 | ・教材（教科書・資料集） ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。 | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。 | | | ○ | 3 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学期 | ホームプロジェクト 【思考・判断・表現】 生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動についてレポートにまとめ、発表する。 | ・教材（教科書・資料集） ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。 | 【思考・判断・表現】 家族の生活時間や、食・衣・住に関すること、ボランティア活動など、自分で関心のあること、また生活から見えてくる課題を探すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動についてレポートにまとめることができる。 | | ○ | ○ | |
| | 第6章 食生活をつくる 人と食物とのかわり 私たちの食生活 【知識・技能】 食事の意義や役割、自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 【思考・判断・表現】 現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 食文化や自分自身の食生活について関心を持ち、健康で豊かな食生活をはぐくむ姿勢を養う。 | ・教材（教科書・資料集） ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。 | 【知識・技能】 食事の意義や役割について、食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 【思考・判断・表現】 現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食文化や自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 第6章 食生活をつくる 食品の選び方と安全 【知識・技能】 食中毒の予防法や、食品添加物の特徴について正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 食中毒の予防法や食品添加物について理解し、自ら考えながら調理実験に取り組む力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に調理実験に参加し取り組もうとしている。 | ・教材（教科書・資料集） ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。 | 【知識・技能】 食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。 【思考・判断・表現】 食品添加物について理解し、調理実験においては作業の流れを判断しながら取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実験においては積極的に参加し取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 第9章 消費行動を考える 消費行動と意思決定 消費生活の現状と課題 【知識・技能】 主体的な消費行動について多角的に考え、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 【思考・判断・表現】 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかわりについて積極的に理解しようとする態度を養う。 | ・教材（教科書・資料集） ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。 | 【知識・技能】 さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 【思考・判断・表現】 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかわりについて積極的に理解しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|----|
| <p>第9章 消費行動を考える 消費者の権利と責任 ライフスタイルと環境 【知識・技能】 契約, 多様な販売方法や支払い方法, 問題商法について理解する。また、消費者の権利と責任について理解する。 【思考・判断・表現】 問題商法による被害を未然に防ぎ, 早期解決する方法を考え、表現する力を養う。</p> | <p>・教材(教科書・資料集) ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。</p> | <p>【知識・技能】 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができる。</p> | ○ | ○ | | 3 |
| <p>3 学 期 第10章 経済的に自立する 【知識・技能】 生活における経済と社会のかかわりについて理解する。 【思考・判断・表現】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な家計管理について考え短期・長期の経済計画について、意欲的に取り組もうとする態度を養う。</p> | <p>・教材(教科書・資料集) ・一人1台端末の活用により、視覚的にも理解できるようにし、必要に応じてプリントも配布する。</p> | <p>【知識・技能】 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | 35 |